

法学委員会 「市民性」涵養のための法学教育システム構築分科会
(第24期・第4回) 議事要旨

日時 2019年10月7日(月) 15時～17時

会場 日本学術会議 2階 大会議室

出席者 糠塚康江 三成美保 稲正樹 小澤隆一 川嶋四郎 棚澤能生

田中教雄(ビデオ) 長谷河亜希子 平山真理 松本尚子 三阪佳弘

三成賢次(ビデオ) 渡邊弘

欠席者 愛敬浩二 秋野成人 浅倉むつ子 岩谷十郎 小林傳司 小森田秋夫 谷口洋幸

中里見博 二宮周平 南野佳代 吉田容子

議事

- 1 前回の議事録を確認した。
- 2 三成美保委員長から、2018年8月6日の前回開催以降、分科会が開催できなかったことに関連して、日本学術会議の財政状況と分科会開催に関する方針について説明があった。続けて、学術会議講堂を土・日・祝日に使用するシンポジウム等の企画提案の要領、提言の作成・提出や記録の作成の要領について説明があった。
- 3 第24期の活動の締めくくりとして提言を作成・提出するか、記録を作成するかについて検討し、記録を作成することとした。記録は7月に幹事会に提出するので、それまでに原稿を集約することとした。
- 4 シンポジウムの企画について、三成賢次委員から資料に基づき提案を受け、種々審議した結果、以下のような方針が、三成委員長から提案され、了承された。
 - ①これまでの活動の成果を踏まえつつ、第24期が終わる2020年9月までに2回のシンポジウムを開催することをめざす。
 - ②シンポジウムのテーマとしては、新科目「公共」や法学教育に関わる具体的な問題や、「市民性」概念の探究など原理・理念に関わる問題などを候補とする。
 - ③2回目のシンポジウムは総括的な位置づけを与える。
 - ④以上のシンポジウムの企画案について、委員長・副委員長・幹事が委員各位の協力を得ながら起案し、2020年1月か2月に開催する次回分科会に素案を提案することとする。
- 5 その他として、三成委員長から2019年11月17日開催予定の日本学術会議・全国ダイバーシティネットワーク主催の「学術フォーラム 学術の未来とジェンダー平等」の紹介と積極的な参加の要請があった。

以上